

# 十月例会御案内

(令和元年、—通算第三九〇回)

## 時代を刷新する会

### ○御案内

十月八日(火)十一時半より入館可、正午〜午後二時半 参議院議員会館一階一〇二会議室

講題 金正恩体制の政治・経済・社会・国際関係!

講師 磯崎敦仁(アツヒト)先生(朝鮮半島情勢研究者、慶応義塾大学准教授)

◎北朝鮮の金正恩体制について、いろいろと論客の論評はありますが、いま一つ、よく分からなないところがあります。金正恩国務委員長は、国内での閱兵式での強面とは異なって、トランプ大統領との会談では、穏やかな礼儀正しい態度を見せ、トランプ大統領に気に入られる面があり、厳しい西側からの経済制裁の中でも、核開発をはじめ、高速ミサイルの開発を進め、その国民が極貧にあえいでいると報じられるのに、ともかく、国内をまとめて行っています。韓国の文在寅大統領との交渉もなかなかしたたかです。

そこで、磯崎敦仁先生は、NHKの日曜討論にも時々出演されますが、六〜八名の討論会ではよく見えないところもありますので、今回、磯崎敦仁先生をお招きし、系統的・総合的な解説をいただくことにしました。奮っての御参加、お待ち申し上げます。(清原記)

□当日会費(昼食付き) 会員は三千円、非会員五千円。

### 時代を刷新する会

http://www.jidaisassin.jp

#### 十月八日(火)の月例会に

電話 03-3272-4320

FAX 03-3507-8587

出席 欠席 (いずれかに〇印を)

御芳名

当日連絡先 080-8836-6203 重田

貴方様の FAX

メール

(メール不可・通話のみ)

注▽ ハガキの返信は十月四日(金)までに、御投函賜りたく。

### ○御報告

この七月、中国が四年ぶりに「中国国防白書」を公表したとの報道があったので、その内容をぜひ知りたいと思い、講師を考えましたが、ここは、やはり防衛庁の防衛研究所にお願いするのが一番と判断し、防衛研究所の飯田将史中国研究室主任研究官にお願いしましたところ、九月中旬ならということなので、お願いいたしました。

九月十三日(金)正午から、参議院議員会館一階一〇二会議室で行なわれた月例講話会には、飯田将史主任研究官御自身が来られ、「四年ぶりに発表された中国国防白書を読み解く!」と題し、解説がありました。

飯田先生は、まず、今回の白書は、一九九八年以降一〇回目の白書で、これまでは二〜三年に一回程度だったが、今回は四年ぶりとなった。四年前は「中国の国防戦略」というテーマで、戦略に集中した内容だったが、今回の白書は、より網羅的な内容であり、文字数も前回の三倍も分量がある。

そして、それは、第一章から第五章に分かれているとして、それぞれの章につき、実に詳しく御解説を下された。その点でも、さすが防衛研究所の中国主任担当官でおられるだけに、よく研究・分析されている、と感銘した。その御解説を、ここに、記す紙数はないので、割愛するが、その各章の題名を記すと、「第一章 国際安全保障情勢」「第二章 新時代の中国の防衛と軍隊」「防対策」「第三章 新時代の軍隊の使命・任務の履行」「第四章 改革中の中国の国防と軍隊」「第五章 合理的かつ適度な国防支出」とある。そして、それに加えて、「新しい人民解放軍の組織図」や「空母『遼寧』によるグアム島接近情況」「南シナ海への対艦弾道ミサイル発射」など、写真入り図形入りのカラー資料も提示され、一同、大層勉強になりました。(清原記)

### ▽「時代を刷新する会」とは

「何事も人類・国民のためになることは、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸信介元総理がそうであったように、超党派・超派閥で、真に国を憂える有志によって構成されています。八つの部会と、五〜六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府に提出しています。第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長は櫻内義雄元衆議院議長、第四代会長の塩川正二郎元財務大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員。その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員・元外務副大臣、前衆議院安全保障委員長が引き続き就任しております。

▽事務局電話(03)3272-4320

専務理事・清原淳平、総務・重田、高津